

令和元年度 地域発 元気づくり支援金 事業実施結果（長野地域）

番号	事業名	団体名	事業内容	事業費 単位数 千円	うち 支援金額	講 評
1 地域協働の推進に関する事業						
1	農道協働整備事業	千曲市	農地の高度利用促進と住民と行政が共に手を携えたまちづくりを進めるため、行政が原材料、重機を手配し、住民が労力を提供し、道路の舗装を行う事業。 ②原材料費（生コン、ワイヤーメッシュ）、重機借上げ費	4,379	2,130	地域内の農道が整備されるとともに、地域で利用する道路を住民が協力して作業をすることを通して地域協働が推進された。
2	地域のみちづくり支援事業	坂城町	町が原材料を支給し、地域住民が生活道路としても利用する農道・林道の整備を行う事業。 ②原材料費（生コン、砕石、ワイヤーメッシュ等）、重機借上料	4,269	2,131	地域内の農道及び林道が整備されるとともに、地域で利用する道路を住民が協力して作業をすることを通して地域協働が推進された。
3	よろずぶしん事業	小布施町	住民と行政が一体となった活力ある協働の町づくりを進めるため、行政が原材料の支給、職員の派遣による技術的助言のもと、住民が道路、水路の整備を行う事業。 ②原材料費（砕石、グレーチング等）	3,194	1,424	地域内の道路・水路が整備されるとともに、住民が協力して作業をすることを通して地域協働が推進された。
4	おてんま支援事業	高山村	住民と行政が一体となった活力ある協働の村づくりを進めるため、行政が原材料の支給、職員の派遣による技術的助言のもと、住民が道路、水路の整備を行う事業。 ②原材料費（砕石、グレーチング、U字溝蓋等）	896	597	地域内の道路・水路が整備されるとともに、住民が協力して作業をすることを通して地域協働が推進された。
5	住民主体のみち直し事業	信濃町	住民協働のみちづくりの推進と農業生産の向上のため、町の原材料支給と地元住民の労務提供により、町道を維持修繕する事業。 ②原材料費（砕石、生コン、U字溝蓋、グレーチング等）（事業費1,500千円）	1,596	1,000	地域内の生活道路が整備され、農作業にも使われる道路の安全が確保されるとともに、住民が協力して作業をすることを通して地域協働が推進された。
6	みんなで道こせ事業	小川村	公民協働の村づくりの推進と、住民生活の利便性向上のため、行政の資材提供と住民の労務提供により道路の整備を行う事業。 ②原材料費（生コン、鉄鋼）	4,873	3,000	地域内の道路が整備されるとともに、地域で利用する道路を住民が協力して作業をすることを通して地域協働が図られた。
7	原材料支給事業	飯綱町	地域協働によるまちづくりを推進するため、町が原材料を支給し、地元住民が労務を提供して道路の維持補修工事などを行う事業。 ②原材料費（生コン）	3,918	2,612	地域内の生活道路が整備され、安全が確保されるとともに、住民が協力して作業をすることを通して世代を超えたコミュニケーションや地域協働が推進された。
2 保健医療及び福祉の充実に関する事業						
8	フレイル予防を含めた健康づくり推進事業	須坂市	須坂市が行う、市民が生涯を通じて健康で充実した人生を実現するために、住民が自主的に運動する環境と機運を高めるためのイベントや講座を実施する事業。 歩行姿勢測定システムを導入し、市のほか、住民主体の教室等でも貸出し活用する。また市民が自分にあつた運動を体験できるイベントやフレイル予防の必要性について学ぶ講座を開催、ウォーキングマップの活用やウォーキング継続者の認定などと合わせ市民が運動を続けなくなる仕組みづくりを行う。 ①謝金、印刷製本費、消耗品 ②歩行姿勢測定システム	669	467	歩行姿勢測定システムを地域の運動教室等で活用したほか、市民が自分に合った運動の体験ができる講座を開催したことで、今後運動習慣のある市民の増加や健康づくり、フレイル予防に関心を持つ市民の増加が期待される。
9	信州子どもカフェの開設事業	(一社)信州親子塾(長野市)	安心して子どもたちが来訪でき、安全に学習支援や簡易な昼食の提供、相談などより幅広く支援を可能にするため、ハード事業として施設の老朽化部分を改修、ソフト事業として、改修された施設で、地域の方も参画する運動プログラムの実施や、週1を目標に子どもカフェを開設、地域の方の協力を得ながら行う事業。 ①学習机、調理器具、量等 ②施設改修委託費	1,657	1,250	利用者のニーズを踏まえた「子どもカフェ」の開設を目指し、施設改修及び備品整備を行ったことで、利用者の満足度向上が図られた。今後は、整備した場所を活用し、息の長い活動が望まれる。
10	信州子ども食堂・子どもカフェの拡大とネットワーク作り編纂	特定非営利活動法人NPOホットライン信州(長野市)	2年目事業。信州子ども食堂の開催の他に、子ども食堂及び長野県が推進する信州子どもカフェを、広く県内に広げ周知するために、各地域の様々な活動を団体の協力を得て取材、ネットワーク作り(月1)やガイドブック発行により紹介し、安心安全な地域の子どもたちの居場所として、信州子どもカフェ・子ども食堂がもつ役割や運営方法、取組みを地域に普及啓発する事業。 ①ネットワーク作り印刷・ガイドブック作成、取材旅費等	909	682	ネットワーク作りが媒介となり、信州子ども食堂・子どもカフェの活動の周知や団体間の情報共有につながった。
11	子ども・子育てフェスタ事業	子ども・子育てフェスタ実行委員会(長野市)	9月22日(日)、23日(祝)に、長野市役所東の桜スクエアで「子ども・子育てフェスタ」を開催、子育てに関するNPO法人の紹介や、子育て施策などの行政紹介、運動プログラムや親子体験など地域の団体に協力を得ながら子ども向けイベント、子育て団体によるステージの発表、防犯・防災を学ぶコーナーなど、子育て支援に関する情報発信を行うほか、子育て・子ども支援を行う地域のママグループ、NPOが一同に会し情報交換や横のつながりを深める事業。 ①会場設営・運営委託費、警備費	6,261	4,261	多様な主体が参加するイベントの開催を通じて、地域の子育て支援に関する団体の取組や行政の子育てに関する施策の情報を発信し、取組に対する認知度の向上や理解が深まった。
12	子育てを地域で支えるソフトインフラ整備プロジェクト	清泉女学院大学・清泉女学院短期大学(長野市)	3年目事業。子育て世帯を地域一丸で支援するため、子ども食堂をベースとした一場所多役の子ども居場所(信州子どもカフェ)として、月1回開催する子ども食堂において学力向上支援、悩み相談を併せて開催するとともに、子ども文化祭を、住民や学生ボランティアとともに開催する事業。子どもの生きる力を高めるため、子ども食堂の半分を子ども自身が調理する自炊型にする。また、参加した保護者を対象に心理学の大学教員による「子育てに役立つ心理学ミニ講座」(仮称)を開催、心理学の専門家が携わることで、子育ての課題を解決するための行政支援や各機関への結び付けも図る。 ①講師謝金、パンナー制作、新聞広告費、チラシ印刷等	973	579	子ども食堂を定期的に開催し、その中で参加した子ども自身が調理する自炊型の子ども食堂も行ったほか、参加した保護者向けに大学の教員がミニ講座を開催するなど、子ども食堂の定着、さらなる発展に寄与した。
13	リハビリテーション介護普及事業	特定非営利活動法人ながの健康教育研究所(長野市)	介護される側ではなく、「介護する側」(施設職員や介護する家族)にスポットをあて、「リハビリテーション介護」(本人が持つ能力を阻害しない、自分の力でできることをする)による自立を支えるための介護への理解と実践を深める事業。介護家族や介護福祉士に、正しいリハビリテーション介護を身に付けてもらうための、テキストの制作と、テキストをもとにした研修会、研修後の事業評価を行う。 ①講師謝金、テキスト制作印刷費等	1,865	1,491	多様な主体による検討を経て、作成された冊子を基に、効果的な講習会の開催を通じて、リハビリテーション介護の普及が図られた。今後の活動により、県民の健康増進、フレイル予防に向けた広がりが期待できる。

令和元年度 地域発 元気づくり支援金 事業実施結果（長野地域）

番号	事業名	団体名	事業内容	事業費 単位数 千円	うち 支援金額	講評
14	健康ボールウォーキングが つなぐ健康寿命増進の 輪	塩崎スポーツクラブ (長野市)	高齢者が正しい姿勢で毎日歩くことによる健康効果と、サルコペニア・フレイル予防の知識をコーチ陣と参加者も共有、年8回のテーマ別ボールウォーキング講座を開催、加えて、健康ボールウォーキング増進のためのチラシの作成とPRにより、ウォーキングでの交流機会の創出、日常的に健康ボールウォーキングを体験できる「健康寿命延伸エリア」を創る事業。 ①講師謝金、ウォーキング用ボール購入費、チラシ印刷費等	463	316	専門家によるボールウォーキング講習会や、ウォーキング用ボールに触れ、親しむ体験会を積極的に開催し、参加者間の交流が生まれるとともに、フレイル予防・改善につながる活動となった。
15	貧困家庭の子供たちへ ICT学習支援事業	特定非営利活動法人 ITサポート銀のかさ ざぎ (長野市)	3年目事業。ICT (Ipad) を活用した子どもへの学習支援を推進するため、一昨年開設した学習支援ポータルサイトの充実と育成コーディネーターをさらに養成し、子どもの居場所での学習支援コーディネーターが各こども食堂へ出向き、学習の後方支援を行うとともに、事業効果と実践内容をもとめ、テキストとして発行、ICT教育の広がりへ寄与する事業。 ①講師謝礼、HP制作費、会場費、報告書制作費等	1,331	744	昨年に引き続き、当マニュアルを活用したICT学習支援コーディネーター講座を開催し、コーディネーターのすそ野を広げることで、ICTを活用した子どもへの学習支援の推進が期待できる。
3 教育及び文化の振興に関する事業						
16	伝統芸能こどもフェス ティバル	長野市	次世代への伝統芸能の継承と文化芸術活動の推進による地域の活性化を目指すため、9月23日、24日に、ジャンルを超えた幅広い伝統芸能継承団体一同に会し、こどもたちによる発表、展示、体験、指導を行う事業。こどもたちによる日本舞踊、琴、三味線などのステージは、事前に公募し練習を重ねることで後継者としての定着を図るとともに、茶道、華道、囲碁、百人一首などの当日参加の体験イベントを開催、同日同時開催される「子ども・子育てフェスタ」の参加者へも広く伝統芸能を発信する。 ①会場設営、広報等	2,265	1,766	異なるジャンルの伝統芸能活動団体が参加することで、団体間の交流がうまれたほか、地元の子どもが伝統芸能に触れるきっかけとなり、地域の文化芸術活動の活性化につながる活動となった。
17	ながの獅子舞フェスティ バル	長野市	3年目事業。次世代への伝統芸能の保存継承と世代や地域を超えた交流により、地域への愛着を図り賑わいと交流人口の増加を図るため、5月3日に善光寺参道などで、市内を中心に各地の団体が獅子舞を披露する事業。今回は、長野地域連携中核事業に位置付け、市のみでなく、長野広域圏内の市町村とともに盛り上げる。 ①会場設営、運営、広報等	4,138	3,002	地域に伝わる伝統芸能の継承と、世代を超えた交流や賑わいの創出となり、年々参加団体も増加していることから、今後の市民による自立した活動が期待できる。
18	長野地域スポーツ振興事 業	長野広域連合	2年目事業。スポーツを通じた長野地域全体のスポーツ振興及びチームの応援等を通じて地域の一体感の醸成を図るため、サッカー等の地元プロスポーツチームが長野管内9市町村の保育園・小学校を訪問しスポーツ交流を図るとともに、園児・児童が、各プロスポーツチームの公式戦でスタジアムでの観戦ボランティア（ごみ拾い、会場準備など）をすることで「支える」側を体験する事業。 ①各プロスポーツチームへの委託料	3,081	979	プロスポーツ選手との交流や施設の利活用により、子どもたちのスポーツへの関心が高まったほか、長野地域のプロスポーツチームの認知度向上に寄与した。また、参加した子どもたちの体力向上・健康増進・情操の育成が図られた。
19	古文書冊子発刊事業	栗田町内会 (長野市)	栗田地区で保存し、現在は長野市公文書館に寄託された江戸から明治にかけての1125点もの古文書について、これらを後世にのこし、地域の歴史や文化を地域住民が学び、継承しゆくための現代語版の古文書冊子を作成、冊子はテキストとして地域の住民等の研修会に反復使用し、簡易なダイジェスト版は育成会や町内会の参画のもと作成、地域や小中学校での栗田地区の歴史PR用として配布、使用する事業。 ①冊子印刷、講師謝金等	413	330	栗田地区に伝わる古文書を現代語訳し、1つにまとめた冊子を作成し、栗田地区の歴史のPRに寄与した。今後、作成した冊子を地域住民等の研修会や、小中学校での活用が望まれる。
20	文化施設がつくる「リト ルプレス」(小冊子)に よる地域間交流及び魅力 発信事業	一般社団法人長野市 文化芸術振興財団 (長野市)	地域の優れた文化芸術やヒト(人)・コト(事)・マチ(町)を、地域の資源として戦略的に活用し、地域の魅力として情報発信するリトルプレス(小冊子)を、芸術館と地域の方が共に作成し発行する事業。文化芸術の情報誌という役割以外にも、他地域からの交流人口の活性化を図るツールとしての役割を担う。また、広く地域の文化芸術に関わる資源、魅力を反復発信するため、長野地域と隣接の上田市交流文化芸術センター(サントミュージーゼ)と連携し、各市の市民と共に文化芸術に関する優れた地域情報を、地域間を横断する形で共同掲載し発信する。 ①冊子デザイン・印刷・発送費、謝金等	2,585	1,938	上田市交流文化芸術センター(サントミュージーゼ)と連携し、単なる文化芸術の情報誌という役割だけでなく、交流人口の増加や移住定住、地域間連携につながる情報発信を行い、地域活性化に向けた取組となった。今後さらなる広がりや、活用が望まれる。
21	ベトナム(外国人)が信 濃に溶け込む「すばらし な事業」	長野県ベトナム交流 協会 (長野市)	2年目事業(前回平成28年度)。ベトナム(外国人)人受け入れのための地域の体制の整備(モデル的に実施)、及び外国の方のための居場所づくりを行うため、地域でのシンポジウムを開催、また、企業等と働くベトナム人やベトナム人親子が孤立しないよう、「輪つと集まれーホットキッチン」(こども食堂、NPOとの協働。)を1月から月2回に増やして開催し、信濃で暮らす生活への支援、相談や日本語学習、ベトナム料理教室の開催などにより、地域と馴染む環境をつくる事業。 ①講師謝金、垂れ幕作成、チラシ印刷費、料理教室食材費等	1,602	763	ベトナム料理教室等の開催を通じて、地域住民が企業等と働くベトナム人やその親子との交流が促進された。地域住民のベトナム人への生活習慣への学びと理解が進み、在留ベトナム人が地域になじみやすい環境形成に寄与した。
22	第15回「まつしる現代美 術フェスティバルー泉 水路」	まつしる現代美術 フェスティバル実行 委員会 (長野市)	2年目事業。平成26年まで13年間開催されてきた「まつしる現代美術フェスティバル」を、近年注目されているアーティスト・イン・レジデンスの手法を用いつつ再興する事業。フェスティバル前に、「泉水路」をテーマとした作品制作と、地域住民とのワークショップ「ラボトリー」を行う。また別途、中核地区で開催されたアーティストインレジデンスの芸術家の作品を期間中上映。フェスティバルでは、旧前島家住宅、松代藩文武学校などを会場とした現代アート展示やシンポジウムなどを開催。同時期に大町市で開催される「信濃の国 原始感覚美術祭」との連携し文化交流を図る。 ①作家への謝金、チラシ・ポスター・記録集制作費等	1,251	1,000	地域住民とアーティストが協力して作品制作を行ったことで、両者の交流が深まったほか、アーティストの作品をきっかけに、松代を訪れる観光客の増加に寄与した。
23	ふるさとの食材を使用し た信州ワインブレッドの 普及啓蒙活動	信州ワインブレッド 研究会 (長野市)	2年目事業。「長野県産ぶどうを使用したNAGANOWINEと、県産小麦粉100%」の信州ワインブレッドについて、今年度は、ワインを提供する長野地域の飲食店等での取り扱い10店舗を目標に、製パン講習会や地元住民を呼んでの試食会、店頭等に貼り出し地域の方への発信と商品等へのPRのためのあらたな広報用DMの作成、各種イベントへの出展、信州ワインブレッドを活用したサンドイッチの作成・販売を行う事業。 ①会場使用料、機器使用料、講師謝金、リーフレット制作費等	794	344	各種イベントや講習会等の開催により、信州産の小麦やワインを使った、信州ワインブレッドの普及に貢献し、地域産品の有効活用の機運を醸成した。

令和元年度 地域発 元気づくり支援金 事業実施結果（長野地域）

番号	事業名	団体名	事業内容	事業費 単位 千 円	うち 支援金額	講 評
24	長野県内の若年層の性的マイノリティへの理解・サポート推進事業	ダイバーシティ信州（長野市）	2年目事業。性的マイノリティ当事者と支援者を対象とした集い（勉強会）及び東京・大阪に拠点を置く虹色ダイバーシティの講演会や県内の当事者とのシンポジウムを開催する事業。あわせて、地域の協力のもと、カフェを試験的に設置、開催、相談も含め当事者が安心して気軽に集える居場所づくりをめざし、専門家を招いて助言を受けながら「場」を設定、取り組みを行う。 ①会場借上費、講師謝金、チラシ制作費等	468	351	講演会やシンポジウムの開催を通じて、多様性についての理解を広げる必要性が共有された。
25	須坂☆キッズシアタープロジェクト	ドリーム・コンシェル（須坂市）	2年目事業。子どもたちのコミュニケーション能力及び地元を愛する心を育てるために、須坂藩主直虎を題材にした演劇『Straight Tiger 直虎』を、公募した小学3～6年生の演劇出演者と演劇効果音担当者が、ワークショップを通じて稽古・練習し、上演する事業。 ①指導、演劇製作一般委託費、チラシ・ポスター制作費、会場使用料等	2,090	1,672	地元の小学生が、地域の歴史的人物を題材にし自ら演じることで、ふるさとへの愛着や表現力の向上、地元の歴史・文化の伝承や周知に寄与した。
26	懐かしくて新しい「紙芝居のさと」づくりⅢ	信州須坂紙芝居のさとプロジェクト（須坂市）	3年目事業。「紙芝居のさと」信州須坂を誇りに思う市民を育てていくため、須坂市出身の街頭紙芝居最後の絵元である塩崎源一郎の作品レプリカ（増刷分500枚）を市民と共同で作成し、街頭紙芝居用自転車を使用して様々な場所で上演、育成したシニアの演じ手の活躍の場を多く創出し、文化の伝承や生きがいづくりも担う。他に、市民講座の開催、関連する講演会や信州紙芝居のさとまつりを開催する事業。レプリカの制作と文化芸術の発信手法については清泉女学院大学山貝ゼミと連携、協力のもと、大学生と共同で進める。 ①講師謝礼、レプリカ制作・印刷費、新聞広告等	2,921	2,337	須坂市出身で、街頭紙芝居最後の絵元である塩崎源一郎氏の作品の500枚ものレプリカを、地域の方と大学生が協働し「使える文化財」として復活させるとともに、シニア世代を街頭紙芝居の演じ手として育成し、シニア世代の新たな生きがいとなったほか、紙芝居を通じて地元の子ども達との世代間交流が生まれるなど、信州須坂の紙芝居文化の醸成が図られた。
27	長野ガロンズ 中学生むけトレーニング講習会	株式会社信州スポーツプロモーション（須坂市）	地域にプロチームがあることの認知度アップと集客のアップ、及び地域貢献と次世代のバレーボールプレーヤーの育成をめざし、北信地域の中学生を対象に、チームトレーナーによる効果的なトレーニング講座開催及びチームを支える人材を育てる事業。トップチーム選手とのミニゲームや、地域住民へのホームゲーム時の会場運営のボランティア募集、パナーデザインは地元中学生から公募するなど、バレーボールやガロンズへの地域の方の関心度アップと盛り上げの機運を目指す。 ①会場使用料、トレーニング用品購入費、ポスター等制作費等 ②講師用ポータブルアンプ・マイク	437	311	長野地域の中学生に対してトレーニングを行うことで、参加した中学生及び保護者に、地域にプロチームがあることの認知度向上が図られた。今後、引き続き地道な地域貢献により、次世代のプロプレーヤーの育成が図られることが期待される。
28	第九で市民の心をつなげよう一音楽によるまちづくり「ことぶきアリーナ千曲・新庁舎落成記念演奏会」	音楽活動によるまちづくり委員会（千曲市）	千曲市合併15周年及び新庁舎の落成、ことぶきアリーナの完成を祝い、3月22日（日）にことぶきアリーナにおいて記念演奏会を、市民公募の合唱を含め実施する事業。なお、公募の合唱団については目標400人とし、第九講座（3回）、合唱練習（3会場に分かれ、9月からのべ20回）を行う。 ①舞台設備委託費、ソリスタ等謝礼、ポスター・プログラム等制作費等	1,426	928	千曲市合併15周年及び新庁舎の落成、ことぶきアリーナの完成を祝うための演奏会に向けて、市内の合唱団やオーケストラを中心に多くの市民が関わり、地域の更なる一体感の醸成に寄与した。
29	日本人の美意識が凝縮された「さらしな」の地名を生かした地域づくり事業	さらしなルネサンス（千曲市）	「さらしなの里」の歴史文化をまなぶ講座（全5回）を開催、広く学生から市民まで公募し実施する事業。講座は、毎回さらしなや冠着山などこの地域の特徴に詳しい講師を招いて実施。これら講座をDVDに記録し、千曲市内の保育園や小中学校へ配付し教材活動に資するとともに、HPにもアップし、歴史文化について多くの方に知っていただく。 ①チラシ・資料制作印刷費、講師謝金、講座の記録・編集・ネット配信作業費	497	372	「さらしな（長野県旧更級郡）」にゆかりのある歴史や食文化など、座学や体験学習を行うことで、広く関心を引き起こすことができた。また、効果的な発信により、地域内外のさらなる交流と地域の教育や文化の振興に寄与した。
30	小布施オープンシアター	小布施町文化事業活性化実行委員会（小布施町）	2年目事業。小布施岩松院に墓がある福島正則を題材にした演劇を、公募した小学生以上の演劇出演者60名がワークショップを通じて稽古・練習し、30名のボランティアスタッフの協力の下、小布施町総合公園野外ステージで上演する事業。 ①指導・演劇制作全般経費、広報宣伝費用等	5,474	3,390	地域の歴史的人物に光をあて、地元住民が参加し演劇を上演することで、地域の歴史や魅力の再発見に貢献した。また、各地から多くのボランティアが参加、演劇という手段で地域の歴史的人物について広くPRする活動をもっと取り組んだ。
31	映像制作ワークショップを通じた「映像のまち」創生プロジェクト	一般社団法人小布施まちイノベーションHUB（小布施町）	2年目事業。小布施町では平成28年度から「映像クリエイターが集うまちづくり」を掲げ、平成29年には映像クリエイターや映像関係者が集まる「Next Filmmakers Summit」を開催、H30には全国から短編映画を公募して「小布施短編映画祭」を開催した。H31は、短編映画祭の開催を継続しながら、映像に携わる作り手を育てるため、映像制作ワークショップ（プロ向け、初心者向け）を行い映像制作力を高めてゆく。映像はすべて小布施町内で撮影を完結できる。あわせて他地域で行われている映画祭との情報共有など連携しHUB的な役割を担う。 ①会場費、講師謝金、チラシ印刷費	3,153	1,612	短編映画祭の開催を通じて、映像文化に対する地域の関心を高めることができたほか、多くの参加者が小布施町を知り、地域と映像作家たちとの今後につながる交流を生み出すことができた。
32	スラックラインワールドカップジャパンによる地域活性化	2019スラックラインワールドカップジャパン実行委員会（小布施町）	2年目事業。全国大会の開催や2017年のワールドカップの開催等で、競技人口や認知度は向上、スラックラインを通じた地域活性化をさらに図るため、スラックラインのスポーツ競技としての地位向上、2027年の長野国体やオリンピックでの採用を見据え、2019ワールドカップを小布施町で開催、開催前には地元小中学校と連携し事前体験会を実施する事業。 ①ポスター制作費、ワールドカップ開催運営委託費等	22,587	10,576	大会運営にあたっては、多くの地域住民や全国のスラックライン関係団体が参画し、地域協働の推進が図られた。また、約1万人を超える来場者が集まり、競技人口の増加、競技の認知度向上が期待できる。
33	赤塩焼復活プロジェクトⅢ	赤東区・赤塩焼啓発委員会（飯綱町）	3年目事業。赤東区でかつて焼かれていた「赤塩焼き」を活用した地区の活性化を図るため、平成31年度は、平成30年度に引き続き採土作業から土づくりを始め、開催要員の高陶芸教室で焼物を作成。また、地域の皆さんが身近に使っていただくために産産体制に向けた型枠を試作、新たな赤塩焼の日用雑器を提案する。パンフレットの作成も行う。さらに、地域の土で焼いた赤塩焼を壁材に使用、新たな旧三水第二小学校に通っていた子どもたちを中心とした住民の手作りによる赤塩焼タイルを壁に貼りメモリアルモニュメントを創り上げる事業。 ①型枠作成費、講師謝礼、採土委託費等	1,595	1,234	陶芸教室の開催や昨年度作成したパンフレットを改良したほか、地域住民の手作りによるタイルの制作により、赤塩焼の周知と郷土の文化遺産としての周知とPRにつながったことから、今後赤塩焼を媒介にした地域活性化の推進が期待できる。

令和元年度 地域発 元気づくり支援金 事業実施結果（長野地域）

番号	事業名	団体名	事業内容	事業費 単位数 千円	うち 支援金額	講評
34	未来のこどもラボ2019	「未来のこどもラボ」実証研究事業体（飯綱町）	飯綱町の統廃合になった小学校校舎を拠点とし、7月27日から8月4日にかけて、「未来こどもラボ2019」を開催、参加は子どもたちを中心とし、地域内外のオトナとの協力を得ながらのアート展示や各種五感を扱うワークショップ、ジュニアポストアップとしての子ども達の運動の体験を通じ、子どもたちのキャリア形成や、創造的な遊びの場での多世代交流による新たな地域コミュニティの発現による地域の活性化を図る事業。 ①Web制作費、作家謝金、物販等委託費、会場設営・撤去費、ポスター等制作費等	5,340	4,126	廃校となった牟礼西小学校を拠点に、地域の子どもの差を対象としたアート展示プログラムや、様々なワークショップの提供を行い、地域資源の再発見や郷土愛を深めるきっかけとなった。
4 安全・安心な地域づくり						
35	待合室設置によるバス停から広がる地域住民の安心、安全な地域づくり事業	戸隠中学校バス通生徒の安全を守る会（長野市）	戸隠中学校のバス通学生徒の安全確保のため、県道沿いに屋根付きのバス停を設置し、掲示板（中学生の情報発信用）や丸木椅子の設置など、会・中学校・地域住民と協働で管理する事業で、待合所が交流の場、情報交換の場として活用されるとともに、バス停周辺の環境整備（花壇、フライト）も実施する事業。 ①丸木イス、掲示板、花壇整備等 ②バス停待合室整備委託費	832	563	バス停を設置したことで、中学生や地域の利用者の安全、安心が確保されたとともに、バス停を拠点とした中学生と地元住民との協働作業を通じて、交流が生まれたことで、今後まとまりのある地域づくりが進むことが期待できる。
5 環境保全、景観形成						
36	姨捨の棚田振興事業	千曲市	日本の原風景、美しい景観でもある姨捨の棚田の保全と次世代への継承、維持するための地域活動の機運を高めることを目的とする事業。棚田のオーナーや、農作業体験に来る方々のための休憩施設でもある姪石苑改修等により、来訪者の増と利便を図るとともに、周辺のルートの道しるべの整備や、荒廃農地の再活用のための農作物栽培試験、棚田保全のための将来的ビジョンを作成する農家アンケートを地域と行政が一体となって実施する。 ①意向調査、作物調査費、ベンチ等 ②姪石苑改修費	6,685	2,849	地域の活動からの声を反映し、案内板や休憩所となる施設の改修を実施するとともに棚田での地域内外の交流を促進し、地域活性化に期待が持てるものとなった。
37	白鳥園協働の公園づくりプロジェクト	白鳥園協働の公園づくり実行委員会（千曲市）	白鳥園周囲にある身近な森を整備する市民の森づくり、幼児、小学生も公募しふれ合いを兼ねて市民交流花壇でのアートガーデンづくりを実施する。5月には花と緑を楽しむ花壇づくり講習会、今後の白鳥園の活用を含めた設計を描くための協働の公園づくり研究会を年4回開催する事業。 ①苗木・客土等整備費、公園設計費、チラシ制作費等 ②交流花壇遠路整備費	2,945	2,145	地域住民を巻き込んだ様々なイベント・取組を通じて、地域住民に愛される白鳥園の形成に寄与した。都市公園の適切な維持管理に関わる官民連携の先進的な取組となった。
38	地元にある桜を活かした自然学習推進・協働による桜維持管理事業	治田公園桜再生プロジェクト実行委員会（千曲市）	地域住民が協働で植えた現存する桜の木200本を維持管理しながら、地域の子供たちと住民と一緒に学ぶ桜についての学びと自然体験、写生コンテスト、寄贈桜苗木の植樹、フォトコンテスト開催などを行うことで、身近にある自然を大切にする心の住民意識の向上と、身近にある緑の重要性について再認識を促す事業。 ①ポスター・リーフレット制作費、講師謝礼、重機借上げ・樹勢回復用堆肥等作業委託費等	851	650	治田公園の桜の樹勢回復や、自然観察会の実施により、地域住民が身近にある自然を十分に意識するとともに、写真コンテストの実施で、地域外の方に治田公園をPRすることができた。
39	飯縄山麓発「白地図を夢色に2」刊行事業	白地図をめろう会（飯綱町）	2年目事業。平成22年度に実施した白地図ガイドは、地域の宝を20箇所掲載したが、10年近く経つ中で、さらに発見された宝を記録するとともに、続編（発展版）となるガイドブックとして発行し、小中学校の教材として学校事業への協力、ウォーキングイベント等での活用を図る事業。より使いやすく、楽しく学ぶため、H31年度に作成するガイドブックは、町の博物館や小学校等と協働し編集してゆく。 ①ガイドブック制作費	1,452	1,161	10年前に刊行したガイドブックを、10年間の活動で得た知見を活かし、内容を発展させた続編を作成し、小学校のクラブ活動への支援や地域住民と連携した調査など、地域を巻き込んだ取組を通じて、地域活性化に寄与した。
6 産業振興、雇用拡大（特色ある観光地づくり）						
40	鬼無里フットパスによるまちづくり事業	鬼無里観光振興会（長野市）	3年目事業。鬼無里地区における観光素材の有効活用を図るため、鬼無里地域の自然や文化、歴史など「ありのままの風景」を楽しむ感覚を歩く、「フットパス」コースとして、「谷の都コース」、「しらひげの社コース」があり、H31は他のコースとつながりを持たせ、鬼女紅葉の菩提寺である松蔵寺などを中心とした「祭礼と町屋コース」（仮称）を住民や関係者とのワークショップを通じて交流しながらつくりあげ、ウォーキングや婚活イベントを実施する事業。整備したコースの活用を図るため、休憩場所の地元住民によるおもてなしや体験企画を実施、民泊との連携も図る。 ①講師謝金、マップ作成等 ②コース案内標識整備	1,929	1,416	住民参加のワークショップの開催・検討により新たに「祭礼と町屋コース」を設定したほか、過去2年間で設定してきた各コースも連携させたウォーキングイベントの開催等を通じて、身近な地域資源を活用した新たな観光ツールとして、鬼無里地区の関係人口の増加に寄与した。また、集落の除草や休耕地で作物栽培が開始されるなど里山の景観整備も進んだ。
41	戸隠地区ユニバーサルツーリズム推進事業	一般社団法人戸隠観光協会（長野市）	戸隠地域が、誰もが安心して訪れることのできる国際標準の観光地となるよう、アウトドア用車いすや福祉用品の貸出、旅行弱者への案内や情報一元化するユニバーサルツアーセンターを戸隠観光協会内に設置、バリアフリー調査とマップの作成、案内板の改善、ユニバーサルツーリズムの担い手育成のためのセミナー開催、地域内トラベルサポートや住民が参加してのモニターツアーの実証実験、戸隠キャンプ場でのユニバーサルフェスを開催する事業。 ①研修・調査委託費、会場使用料、マップ作成費、福祉機器購入等 ②アウトドア用車いす購入費、案内板制作	4,406	3,185	障がい等を理由に旅行を楽しむことが困難な旅行弱者のための様々な取組を通じて、戸隠地区におけるユニバーサルツーリズムの推進に寄与した。
42	釣一リズム信州推進事業@千曲市（戸倉上山田地区）	「釣一リズム信州」千曲市戸倉上山田地域協議会（千曲市）	3年目事業。上山田地区の活性化に向け、千曲川にニジマスの成魚を放流し釣り場を整備するとともに、釣り教室の開催や、遊漁券購入者へ飲食店や温泉入浴券等クーポンを配布するなど、地域の温泉旅館組合にも参加してもらい地域全体を盛り上げる事業。放流による誘客効果を高めるため、比較的高温の高い10月～11月に放流期間を短縮するとともに、放流間隔を毎週の放流とする。また、宿泊客への釣り体験の機会を設ける。 ①放流用ニジマス購入費、ポスター・チラシ制作費等	1,201	800	千曲川が新たな釣り場として魅力的な場所となるよう、地元の温泉旅館組合等とも連携し、様々な取組を行い、釣り場が地域の観光資源として定着させる活動となった。
43	ストライダーエンジョイタウンから始める信濃町における地域交流と魅力発信事業	黒姫高原ブランド倶楽部（信濃町）	3年目事業。幼児～子ども向けのストライダーを活用した地域活性化に向け、ストライダーのさらなる認知向上とイベント誘客を図るため、国内及び海外向け（英語版）のSNS（フェイスブック）でのPRとともに、本年度はストライダーエンジョイカップの自主開催と、その前後に行う参加者と地元住民が交流を図るための地域イベント（野菜もぎどり、木育体験など）、町の保育園4か所でのストライダー乗り方講習会を開催、あらたに飯綱町や長野市の保育園、幼稚園とも連携しそちらでの開催もひかせる事業。 ①講師謝金、広告掲載費、会場整備費、木育材料費等	1,563	1,183	ストライダーの乗り方講習会や農業体験をセットにした地域交流会の開催を通じて、参加者と地域住民との交流が図られたほか、黒姫高原の魅力の向上・発信に寄与した。

令和元年度 地域発 元気づくり支援金 事業実施結果（長野地域）

番号	事業名	団体名	事業内容	事業費 単位 千 円	うち 支援金額	講 評
44	峰街道観光プロジェクト	峰街道の会 (小川村)	峰街道は、長野市、小川村、大町市に位置する歴史ある山の峰筋に配置された街道で、この景観資源を地域の方にも知っていただき、「天空の道 峰街道」が広がるよう、古道整備や峰街道の補修のほか、歩く体験を実施し参加者と会と地域との交流を図り、また、峰街道を広く周知するためのパンフレット作成、峰街道の道標を設置する事業。 ①案内板・道しるべ制作設置、パンフレット制作、会場使用料等	1,351	1,080	峰街道を「歩くこと」を目的とした観光ルートとして設定し、道標・案内板の整備ならびに会の交流としての草刈り・雑木伐採の整備を行うことにより小川村だけでなく長野市中条や大町市も巻き込み、「峰街道」という観光資源としての共通認識が醸成された。また、峰街道を紹介するパンフレットを活用し、観光ルートとしての知名度の向上につながった。
6 産業振興、雇用拡大（農業の振興と農山村づくり）						
45	須坂暮らしありのまま農泊推進事業	須坂市	2年目事業。須坂市の都市農村交流における農家の所得増を図るため、農家民泊受入希望農家による農泊受入モニターツアーを行うとともに、銀座NAGANOで須坂の農村生活の魅力発信PRイベントを開催する。民泊受入体制の構築のPRイベントの作成、受入農家を増やすための講演会を開催するなど、ウェブサイトも活用した取り組みを行う事業。 ①講師謝金、広告宣伝費、モニターツアーバス借上費、会場使用料等	591	472	旅館業法等の研修会や先進地視察により、地元農家が簡易宿泊業許可を取得し、農家民泊のモニターツアーを実施するなど、農泊受入体制の構築の第一歩が図られた。銀座NAGANOでのイベント、それら参加者のSNSでの発信により、須坂の魅力を多くの方に伝えることができた。
46	千曲市 あんずブランド化による地域活性化事業	千曲市	2年目事業。生食向け高価値品種の「ハーコット」にプレミアム規格を設けて「プレミアムハーコット」としてブランド化を図り、安定的な選別、出荷を可能とするための必要な試験を行うとともに、生産者が銀座NAGANO等で販売を体験し生産意欲の醸成と消費者の認知度向上を図る事業。また令和2年度からの本格販売に向けた流通、供給の体制づくりに行う。 ①検育のみ試験費、非破壊測定機器検査線作成、生食劣化試験費、カラーチャート作成、検体果実費、リーフレット作成委託等	3,463	2,770	凍害対策試験や、ブランド化に向けた基準の策定等のほか、首都圏の販売店やホテル等で販売・求評活動を行い、プレミアム規格の商品化に向けた準備を進めることができた。
47	戸隠の遊休地を活用した「撮（緑）農」による酒米づくりと中山間地域若者視点でつなぐコ・フリエーションスペース「ENKAI〜緑会」	信州goenプロジェクト実行委員会 (長野市)	戸隠の遊休農地での酒米づくり（3反）を、参加型イベントとして行い、また参加者を広く募るためのWEBサイトを構築するソフト事業と、ハードとして、自然農法で行うための水田用の除草機、葉切り機の購入、学生と地域の継続的な交流を図るための情報拠点（「ENKAI（緑会）」を長野駅前テナントビル5階に改修整備し、講座や勉強会など戸隠地域の方の利用も視野に、学生の学生による企画運営の拠点とする事業。 ①講師謝金、チラシ等印刷費、WEB・プロモーションビデオ作成費等 ②交流拠点改修委託費、農機具購入	2,867	2,000	戸隠山麓の休耕田を活用した無農薬での酒米づくりとイベントスペースの運営を通じ、中山間地域と首都圏、企業と学生、生産者と消費者をつなぐ取組となった。
48	ガレット・そば粉の普及・振興事業	信州ガレット振興会 (長野市)	3年目事業。ガレットの普及を図るため、信州産の伝統野菜、フルーツを使用した限定メニューを県内のガレットを提供する店舗（北信の店舗が中心）に考案してもらい販売するガレット祭りや、事業者の部、一般の方（親子）の部に参加を促した。地産の食材を使用したデザートガレットなどそばガレットのおいしさを学び気軽に作ってもらい講習会を開催する事業。 ①マップ作成、チラシ印刷費、講師謝金、TV広告費等	1,997	1,494	生産者や商工会との協働によるガレット祭りの開催等により、そば粉の消費拡大に寄与した。今後、来場者へのアンケート結果を活かした取組が期待される。
49	2019カシス収穫祭で信州産カシスを全国へ広める事業	特定非営利活動法人日本の工芸と文化 (長野市)	2年目事業。信州産カシスが東京都内で販売され初めて開催される「信州カシス収穫祭」の実施で誘客と知名度アップを図り、カシスのスイーツ開発や機能・賞味期限等の設定のための試験、及び更なる販路拡大のためのPRを行う事業。 ①リーフレット・チラシ制作、パンナー制作費、試験委託費等	1,109	830	信州カシス収穫祭の開催により、信州産カシスの知名度アップにつながった。レシピの考案で今後の販路拡大や消費拡大が期待できる。
6 産業振興、雇用拡大（森林づくりと林業の振興）						
40	“森”をきれいに“畑”を活かす「ハンドメイドピザ釜」事業	特定非営利活動法人飯綱高原よっころしよ (長野市)	次世代を担う子どもたちや市街地のファミリー層と一緒に、飯綱高原よっころしよの敷地にあるヤブ農場で、手作りピザ釜を作成し、畑から直接野菜を収穫しピザ焼き体験をする事業。燃料は、森林の間伐材の有効活用と利用促進を図る手段として、薪を利用し、森林づくりと畑づくり双方に楽しく関わり興味をもっていた。 ①広告制作（Web、インスタ等） ②ピザ釜キット、設置費	950	714	手作りピザ釜を設置し、それを活用したピザ作りの体験を通じて、参加者が森づくりや畑づくりに興味を持ち、里山の保全に関わりその活動を支える人材の育成に寄与した。
6 産業振興、雇用拡大（商売の振興）						
51	産業フェアin信州2019『先端技術で拓く 信州の未来』	産業フェアin信州実行委員会 (長野市)	3年目事業。「先端技術」をテーマとし、“先端技術であるAI”を“地域課題の解決”のために活用し、高齢化や災害対策社会問題のインフラ整備について発信する事業。事業者向け、一般向けの講演会・セミナー、ビジネス商談会、地元工業高校等の協力によるブース等を開催し、企業、一般の地域の方にもPRする事業。 ①会場借用料、講師謝金、機器借料、会場設置費等	4,450	3,337	北信地域の企業の事業拡大や販路開拓につながるきっかけ作りとなったほか、未来の担い手である地元の小・中・高校生がものづくりに興味を持ってもらう機会となった。
52	さかき発 ワイン文化醸成事業	株式会社 坂城町振興公社 (坂城町)	坂城町及び観光協会、地域振興団体と連携のもと、坂城町のワインの知名度をアップするとともに、坂城産ワインを応援する機運を醸成する事業6月に行われる「坂城駅前葡萄酒祭」において、坂城町産のほかに県内の新興ワイナリーと連携し、ワインの美味しさや楽しみ方を講座で学ぶとともに、各ワイナリーのブースと参加者が交流する。他にも11月にはワインセミナーを開催し、ワインを坂城町の新しい文化として浸透させるきっかけとする事業。 ①会場設営・ポスターチラシ制作・バス借上費等委託費、チラシ印刷費、ソムリエ謝金、教材食材費等	3,295	2,399	坂城駅前葡萄酒祭には予想を大幅に上回る来場者が訪れ、坂城町産ワインや近隣市町村のワインの情報発信を幅広く来場者に行うことができた。また、町内で開催したセミナーを通じて地域住民のワインへの興味や認識が深まり、今後の坂城町におけるワイン文化の更なる醸成に向けた広がりが期待できる。
6 産業振興、雇用拡大（その他 地域の特徴及び個性を活かした産業振興及び並びに雇用拡大に資する事業）						
53	ながのシニアおしごと「ご縁」結び（シニア就労セミナー）	長野市	健康長寿延伸及び、社会とのつながりを保ち続け社会参加の機会を増やすことを目的に、フレイル予防の3柱（栄養・運動・社会参加）のうちの1つの活動を担う事業。定年退職後のシニア世代に向け、7月14日にフレイル予防と就労支援セミナー、適した職種を見つける職業適性検査「からだ測定」を行い、チームズな社会参加へと促す。また就労相談・求人情報ブースを設け、採用ニーズのある事業者等とも協働しながら社会参加へのマッチングを実施する。 ①講師旅費、印刷製本費、測定委託料	690	552	60歳以上の市民を対象に、社会参加を促すための就労支援セミナーを開催し、あわせて企業側とのマッチングの機会も設けたことで、フレイル予防に対する効果的な取組となり、信州ACEプロジェクトの推進に寄与した。

令和元年度 地域発 元気づくり支援金 事業実施結果（長野地域）

番号	事業名	団体名	事業内容	事業費 単位 千 円	うち 支援金額	講 評
54	長野県北信エリアへの移住・就職・創業の促進ハンドブック「信州の参考書（北信版）」制作・出版事業	NPO法人コミュニティビジネスネットワーク（長野市）	地方での若者の定着と魅力発信を目指し、「移住」「創業」「就職」の3つのテーマを1つにまとめたハンドブックを制作し発行する事業。3つのテーマをまとめ、さらに北信地域に特化した情報や地域特色を掲載し、実際に起業や就職をした地域の若い方の感想や若者へのメッセージなどをコラムで紹介するなど、移住・創業・就職に向けた、若者と地域を結ぶ地域版ハイブルを目指す。 ①ハンドブック制作印刷費、Web制作費	1,485	1,188	今後、ハンドブックを活用し地方での若者の定着が進むことが期待される。
55	信州産ソルガムの普及促進事業	信州産ソルガム普及促進協議会（長野市）	グルテン、アレルギーフリー食材として注目される信州産ソルガムを普及させるため、平成25年から信州大学と共同で実施してきた耕作放棄地の有効活用試験栽培やソルガムの収穫の再利用などの地域循環をさらに発展させ、栽培面積を増やし実際に市場で流通させることを目標に、農家に対する栽培技術講習会、種子のあっせんや機器類の貸し出し、販促ツールの作成とPRイベントの開催、レシピ本の作成、展示会出店、また、アレルギー物質と別の設備が必要となるため一次加工機器の購入を行う事業。 ①出展費、パンフレット制作費、ロゴ制作費等 ②金属検出器、風力選別機、フリック式選別機、円形ふるい機、ハーベスタ等	6,565	4,994	信州大学や地元の地域グループと連携し、信州産ソルガムのレシピを考案したほか、小学生に対する学びの場を設けたことで、信州産ソルガムの更なる普及や世代間交流が図られた。今後、ソルガム生産にやり組む農家が増加するなど、中山間地域の更なる活性化が期待できる。
56	北信エリア 地元産酒類のツーリズム資源化推進事業	北信エリア 地元産酒類のツーリズム資源化推進実行委員会（長野市）	北信エリアの酒類を活用した「エリア・ツーリズム」を行う事業。「北しなの酒蔵オープンデイ（仮称）」として10月18～20日の連休中に、長野市、須坂市を中心とした北信11市町村21社が参加、各酒蔵を、一般参加者がマップでめぐり、酒蔵見学や試飲など学びと体験と交流によるツアーを行う。また、各酒造メーカーの意識付けと地域でのおもてなしによるお客様満足度アップのためのセミナーを行い、酒蔵と地域の連携を支援、オープンデイにあわせ、北信連の酒類ガイドマップを制作する事業。 ①プロモーション委託費（TV、新聞等広告、デザイン企画）、マップ・チラシ制作費、講師謝礼等	5,085	4,000	北信地域の酒蔵を観光資源ととらえ、エリアツーリズムとして様々な取組を行い、地域内外の大勢の参加者を呼び込み、酒蔵での体験と交流を通じて、地域の新たな交流人口の増加に寄与した。
57	あんずなどの年間通じた安定的・高品質加工で村おこしで地域貢献する	工房アブリコ（千曲市）	3年目事業。あんず加工品の年間を通じた安定的な供給と、高品質化のため、冷凍保存を試みるとともに、味の安定や効率の良い加工に向け、糖酸度計やスライサーを購入、従来の商品のイメージのブラッシュアップを図るため、屋代南高校と共同で、新商品の開発と販売のためのデザイン等の考案を行う事業。 ①ラベル、パンフレット制作費、糖酸度計機器購入費等 ②簡易充填機・電動スライス機購入費	1,372	1,077	高校生との協働により新商品開発が実現したほか、各種加工機器の導入により生産性の向上が図られ、あんずの生産振興を通じて地域活性化が図られた。
58	高山村の折々発信事業	折々部（高山村）	高山村の四季折々の情報や人となり、インタビュー記事で高山村のつづきを知ることが出来る季刊誌「折々（おりおり）」の発行、村内のお土産にブランドのイメージを醸し出すお土産品統一ステッカー（ロゴマーク）のデザインと制作、村内の地産品を使用したお土産品の開発を行う事業。お土産品に貼るステッカーは産業振興課と観光協会とも連携し、お土産認定制度など村民の意見を取り入れながら実施し、メインイン高山村としてブランド力をつけ発信する事業。 ①季刊誌制作費、会場使用料、ロゴシールデザイン費等	484	346	季刊誌「折々」の発行を通じて季節ごとの魅力や、地元住民の取組を紹介したことで、高山村の人・物・コトの活性化につながった。また、高山村の土産品に貼る共通ステッカーを開発したことで、今後「高山村」ブランドの底上げとなることが期待される。
8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業						
59	須坂市結婚支援事業「須坂の魅力を知る＆みんなで結婚応援プロジェクト」	須坂市	市が須坂市社会福祉協議会への委託で実施。行政だけでなく、市民、町区、各種団体、家庭や企業などが一体となり、地域全体で婚活を支援する機運の醸成を事業。地域の方向けの結婚サポーターセミナーの開催、須坂の魅力を知りながらの様々なセミナーや交流会を実施し婚活者の支援を行う。 ①委託費	1,504	825	地域全体で結婚支援を行う機運を醸成することで、地域全体で婚活を始める方の増加が期待でき、また須坂の魅力を知ることによって定住者の増加も期待できる。
60	みんなとZOOとわくわくわんパーク事業	須坂市	2年目事業。須坂市臥龍公園は市民に広く愛され多様なボランティアの活動の場であるが、この公園の自然環境の整備や調査、新たに記念樹や須坂動物園の動物運の特徴を反映した動物ガイド冊子の作成などを市民と協働で作業し、出張ふれあい動物園等の開催を通じて、より親しみやすい憩いの場としての利用向上を図り地域を大切にすることを育む事業。 ①樹木名版、苗木、動物ガイド制作費等 ②記念植樹費用	3,938	3,095	多様なボランティア、一般の方の参加による環境整備や自然の学びにより、臥龍公園の市民の憩いの場としての役割の一層の向上とともに、地域を大切にすることを育む取り組みとなった。
61	スザンビーが歩むまちづくり探検隊～私たちが探す、地域のすばらしさ、魅力再発見～	須坂市	2年目事業。須坂市第1・2ブロックをフィールドとしてその地区の住民や市内の小中高の児童・生徒が参加し、共に地域の足跡や文化財等の埋もれたお宝（資源）に気づくための町歩きを行うことで、気が付いた資源（お宝）の活用と町の課題について考え、その解決策を実践し、市民の取組成果について発表する事業。高校生や学生による町の課題解決の実現や、町角のどこに灯りを設置するか子どもたち自身が見て、考え、地域住民と折衝しながら課題解決に取り組んでゆく。 ①講師謝金、印刷費、材料費等	940	751	まち歩きにより発見した情報をもとに、子どもたちや地域の方とまちを明るくするランプシェードを制作、子どもたち自ら考えた場所に設置を依頼するなど、楽しみながら地域活性化の活動を行うことができた。
62	【長野県～100年後の未来へと繋ぐ】プロジェクト②大岡を000KAとして世界へPRするための事業	NPO法人元気お届け隊（長野市）	2年目事業。長野市大岡地区の認知度を更に高めるため、デジタルなどを利用して大岡の写真を撮影しInstagramへの投稿でより多くの方に知ってもらう【大岡を世界の000KAに】キャンペーンを展開、住民参加で写真選考会を実施する。また、スマホを用いて大岡の写真撮影と投稿を行ったための地域の方との勉強会や高山村の活かし方勉強会、銀座NAGANOで大岡の魅力を健康食づくり体験会を実施し、住民がふるさとを再認識するとともに多くの方に大岡を訪れていただくきっかけを作る事業。 ①講師謝金、チラシ・ポスター印刷、ラジオ宣伝費、健康測定器レンタル費等	1,015	811	スマートフォンを用いたInstagram掲載方法と写真撮影の勉強会の開催や銀座NAGANOでのイベントを通じて、大岡の良さをPRし再来訪を促すとともに参加者と地域住民との交流が生まれた。
63	スキマ信州プロジェクト	Skima信州（長野市）	正しい発信方法を身に付け、発信の場を与えることで若者自らが発信源となり、「隙間（スキマ）」を地域住民の力で発信しつづけるため、長野地域居住者を主に、情報発信の基本から記事作成、現地での取材実践、発信手法を学ぶ全4回の情報発信講座や、それらの発信場となるWEBページの作成、幅広い世代に広く知ってもらうためのフリーマガジンの制作発行を行う事業。 ①冊子制作費、講師謝金、会場借上げ費等	980	783	地域の若者自らが地元の隠れた魅力を「Skima」として発信するため、効果的な情報発信を学ぶ講座を開催したほか、その成果を發揮する場の1つとしてフリーマガジンを作成し、広く配布したことで、地域の魅力を幅広い世代に認知されるきっかけとなった。

令和元年度 地域発 元気づくり支援金 事業実施結果（長野地域）

番号	事業名	団体名	事業内容	事業費 単位 千 円	うち 支援金額	講 評
64	飯綱高原ショートムービーコンテスト	一般社団法人 飯綱高原観光協会 (長野市)	飯綱高原を利用した、ジュニア部門及び一般部門からなる「飯綱高原ショートムービーコンテスト」を開催、5月～9月までの間に撮影したショートムービーを応募し、10月にコンテストと上映会を開催。また、ジュニア向けの映画作りワークショップを開催することで、飯綱高原の魅力を発見し、発信してもらう事業。 ①会場借上げ費、上映機器レンタル費、審査謝礼、新聞広告費、ポスターチラシ等制作費等	988	685	この取組をきっかけに、今後、地域一丸となった「飯綱高原」への観光誘致への取組と、それにあわせた事業展開で、さらなる盛り上がりを期待したい。
65	スマイル・ママ・フェスタin須坂の開催	スマイル・ママ・フェスタin須坂実行委員会 (須坂市)	3年目事業。子育てしやすい地域づくりのため、子育て世代のママ達が、自らの経験や活動を活かした発表の場や親子が一緒に楽しみ交流できる場として須坂市メセナホールでスマイル・ママ・フェスタin須坂を開催する事業。 ①チラシ制作費、講師謝礼、託児費、テント等レンタル費用等	530	358	子育て世代のママ達が、自らの経験や活動を活かすことのできるブースやステージなど発表の場で、親子と一緒に楽しみ、他のママとの交流する等賑わいの創出となった。また、イベント時には、地域のおばあちゃん世代による託児やおじいちゃんグループによる昔のおもちゃづくりなど、世代間交流も図られた。
66	「そば文化」による千曲市「繋がり」創生事業	信州千曲「さらしなの里」そば祭り実行委員会 (千曲市)	地域のそば文化をさらに広め観光誘客を図るため、学生との協働によるそば商品開発、地域の子どもたちとそば職人が子ども食堂で一緒にそば打ち体験を学ぶ事業、また、10月19日に開催されるイベントに出展、体験教室で学んだ子供たちがその成果をお客様の目の前で披露、そばを召し上がっていただく事業。そば打ちを学んでいる歴代南高校と下高井農林高校によるそば打ち実演、そば名人の指導を受け来場者もそば打ちを体験するなどの取り組みを行う。 ①講師謝金、会場設営費	591	0	地元の子どもたちとともに地域住民がそば打ちを体験することで、そば文化を通じた世代間交流が図られた。
67	「ちくま地域未来戦略研究機構」による「まちづくり・ひとつづくり」	(一社)ちくま地域未来戦略研究機構 (千曲市)	市民各層がオール千曲で真剣になって一体となり、学びを原点においた事業展開、次世代の子どもたちの郷土への思いやりやほこりを醸成するため、千曲市中心地にホームベースとなる拠点をリノベーションで整備し、そこで月1回以上地域の未来戦略についてのトークセッションを開催、市民の学びの場としてちくま版「熱中小学校」の開校、学習支援のこどもカフェの開設、「ちくま検定」事業に向けた資料収集活動、web開設、新たな市民広報の発刊を行う事業。 ①講師謝金、会場借上げ費、調査委託費、広報印刷製本費等 ②活動拠点施設改修費、机等備品購入費	4,199	3,218	各方面からゲストを招き、地域住民を対象とした千曲市の発展をテーマとした講演会の開催や、千曲市の魅力の再発見を目的とした「ちくま検定」の実施に向けた活動などを通じて、まちづくりへの関心の高まりや市民の主体的な参加を促すきっかけとなった。